

「情報源を上手に使うには—情報検索に有効な図書資料・Web 上の情報源」

北海道学校図書館協会研究部 新田裕子

## 1. 参考図書資料

- ①『レファレンスブック 選びかた・使いかた』四訂版 長澤雅雄・石黒祐子 日本図書館協会 2020  
わが国で出版されているレファレンスブックを広く展望し、各種の特徴的なタイトルを選択して解説を加える。各章末に質問事例を掲載。
- ②『図書館活用術』新訂第 4 版 検索の基本は図書館に 藤田節子著 日外アソシエーツ 2020  
図書館で入手できる情報源の有用性、信頼性を解説。豊富な図・表・写真を掲載。図書館の活用法、利用法について徹底ガイド。
- ③『学校図書館メディアの構成 探究 学校図書館学第 2 巻』 全国 SLA 2020  
学校図書館メディアの意義と役割、コレクション構築や組織化の理論と実際などについて解説する。学校図書館メディア選択のためのツールも紹介されている。 p.51～58
- ④『インターネットの文献探索 2019 年版 JLA 図書館実践シリーズ』 伊藤民雄著  
日本図書館協会 2019  
図書館業務に役立つインターネットの文献ガイド。図書、雑誌、新聞、視聴覚資料などを対象に、学術上の調査・研究、情報検索に役立つサイトとデータベースを紹介。
- ⑤『学校図書館で役立つレファレンス・テクニク—調べる面白さ・楽しさを伝えるために—』  
斎藤誠一 少年写真新聞社 2018  
学校図書館の現場で役立つよう、レファレンスの基礎知識や覚えておきたいテクニク、レファレンスブックの活用法、記録の書き方などを解説。演習も掲載。
- ⑥『スキルアップ！情報検索 基本と実践』 中島玲子・安形輝・宮田洋輔  
日外アソシエーツ 2016  
的確な情報を、最適な情報源で、素早く見つけられるスキルが身につくテキスト。豊富な例題を通じて検索方法の考え方を易しく解説し、裏ワザも紹介。

## 2. Web 上の情報源

### インターネット上の辞書

複数の辞書を横断して検索すると同時にそれぞれの辞書の URL も見つけられるサイトがある

- ① 辞典横断検索 Metapedia <http://metapedia.jp/>
- ② コトバンク <https://kotobank.jp/>

朝日新聞、朝日新聞出版、講談社、小学館などの辞書から、用語を横断検索できる。百科事典から、人名辞典、国語・英和・和英辞典、現代用語辞典や専門用語集といった内容まで幅広く網羅しており、情報は随時更新追加されている。

## 調べ案内

国立国会図書館のサーチ・ナビ

<http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

## 情報検索サイト

### ① 国立国会図書館サーチ

<https://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館を含め全国の公共図書館、公文書館、美術館、学術研究機関等を横断し所蔵資料の検索が可能。

### ② 国際子ども図書館

<https://www.kodomo.go.jp/info/index.html#links> (キッズページリンク集)

図書館、国の機関、美術館・博物館など、様々な機関が作成している子ども向けホームページのリンク集。

主として、国または都道府県立レベルの機関が公開している、おおむね 18 歳以下の子どもたちが主たる利用者として想定されるウェブサイトを中心に掲載。

### ③ 北海道立図書館

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

Do-Links (北海道立図書館情報検索リンク集)

ウェブサイトについて無料で検索できるデータベースや官公庁等のホームページを紹介

## 学術コンテンツ文献検索

### ① Cinii

<http://ci.nii.ac.jp/>

論文、図書・雑誌や博士論文などの学術情報で検索できるデータベース・サービス

### ② Webcat Plus

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

国立情報学研究所 (NII) の情報サービス

「江戸期前から現代までに出版された膨大な書物を対象に、そこに記憶された知の集積を自由に探索できる思索空間の実現を目指している。全国の大学図書館 1000 館や国立国会図書館の所蔵目録、新刊書の書影・目次 DB、古書店の在庫目録、電子書籍 DB など、本に関する様々な情報源を統合して、それらを本・作品・人物の軸で整理した形で提供している。

## 授業に役立つ学校図書館活用データベース

[http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/index.php?page\\_id=0](http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/index.php?page_id=0)

学校図書館を活用した授業実践をデータベース化したもの

## 新書マップ テーマで探す新書ガイド

<http://shinshomap.info/>

関連する分野やキーワードが図で表示され、関連分野に沿った新書や文庫を探すことが可能である。「想 IMAGINE Book Search」や「Webcat-plus」にも繋がっている。

## 統計資料

### ① 総務省統計局

<http://www.stat.go.jp/>

## レファレンス

レファレンス共同データベース

<https://crd.ndl.go.jp/reference/>

全国の図書館で行われた質問回答サービスの記録、調べ方マニュアル、特別コレクション参加館プロフィールを提供し、カテゴリ、地名と協同で構築している、調べ物のためのデータベース。

## 写真の検索

- ① 幕末・明治期日本古写真 長崎大学附属図書館 幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース

<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/jp/category.html>

以下は閲覧・検索のみ無料。使用には注意が必要。

- ② 毎日フォトバンク [https://photobank.mainichi.co.jp/php/KK\\_search.php](https://photobank.mainichi.co.jp/php/KK_search.php)  
③ 朝日新聞フォトアーカイブ <http://photoarchives.asahi.com/>

## 絵本データベース

- ① 絵本ナビ <http://www.ehonnaui.net/>  
② 子どもの心を理解するための絵本 DB <http://www.naruto-u.ac.jp/db/ehon/>

## その他 人物事典や、目的別検索サイト

歴史人物像データベース

<http://base1.nijl.ac.jp/~rekijin/syouzou.html>

国立国会図書館近代日本人の肖像

<http://www.ndl.go.jp/portrait/index.html>

歴史上の偉人

<http://www.jinmei.info/>

多言語生活情報

<http://www.clair.or.jp/tagengo/>

音楽、歌詞、楽譜、芸術作品、映像等のサイトもある。

## 立ち読みサイト

立ち読み可能な書籍がネット上に公開されている。本を買う前に。序文、目次、本文の一部、作品の冒頭部分などの閲覧が可能になっている。

立ち読みにあたって閲覧ソフトのインストールが必要なものもある。

- ① 電子文庫パブリ <http://www.paburi.com/paburi/>  
② グーテンブルグ 21 <http://www.gutenberg21.co.jp/>

## 3. Web 情報資源集

<https://shinji50.sakura.ne.jp/resource/conv.cgi>

大学図書館のホームページに掲載されたリンク集から、無料で公開されているサイトを集め、インターネット情報資源として公開。NDC(日本十進分類法)、ドメインで Web ページを選択することができる。(2021.1.8 現在、4013 件)